

いまでもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司  
メールアドレス：info@ogiharakenji.com  
連絡先：042-705-5119 (ファックスも同じ)

# おぎはら健司の市政レポート

## 政策・公約について

前号で市議会議員の権限について触れましたが、分かりにくい点や誤解を招きやすい点があったので、改めてお伝えしたいと思います。

前回申し上げたかったのは、実際に政策や施策を実施するかどうかは「執行権」を保持する行政機関の側にあり、議会の側に「執行権」は存在しないということです。つまり、それぞれの議員は質問権・提案権に基づき市民からの要望や議員個人の政策や施策について、行政機関へ提案し実現させるために、いかにその施策の必要性を認識させるかという事です。

ただし、公約とはなり得ませんが、目指すまち作りや大まかな政策・施策の方向性というものは、議員それぞれが持っているはずで

す。前回の選挙に立候補する際、多くの市民の皆様から「荻原さんは、どのような『公約』を掲げているの？」などと聞かれることが多くありましたが、その都度の答えは「議員には執行権がありませんので、公約はありません。ただ、市民の皆さんそれぞれのお立場によって、住みやすいまち、住みたいまちって違いますよね。40歳独身(当時)の私が住みたいと思うまちと、例えば30代子育て世帯や70代高齢者お一人世帯には共通点こそあれ、個別に求める施策は違うはずです。私が住みたいまちを作っても、同じ境遇のごく一部の方にしか受け入れられません。ですから、様々なお立場の皆様の声を伺い、それらを実現して行くため、皆さんを代表して提案をして参ります」とのものでした。

分かりやすく申し上げれば、私自身の政策は「立場の異なる、一人でも多くの皆さんの声に耳を傾け、それらの実現性を行政機関と協議しながら模索し、実行して頂くため働きかけをする」というものになります。

初心を忘れる事なく、邁進してまいります。

## 社労士会の出前授業、さっそく実現！

前号で紹介した神奈川県社労士会による、働く事の意義を教える出前授業ですが、相模中学校長のご英断で、本年3月8日に実施される事が決まりました！更に、1月27日に開催された公立中学校長会でも話題になり、他の中学校も意欲を見せているという事でした。

中学校を卒業し、アルバイトを始める子どもや社会人となる若者たちに、働くことの意義・勤労者の権利や義務をしっかりと認識させるという試みが、キャリア教育の一環として、さらに将来の座間市を担う人材育成の場となる事を大いに期待すると同時に、趣旨を理解し実現にご尽力された皆さんに敬意を表する次第です。

## 言葉が見つかりません...

週刊誌によって秘書のスキャンダルが暴露され、結果として秘書の監督責任不足により甘利明代議士が大臣職を辞されました。甘利代議士の説明不足を感じている方もいらっしゃると思いますが、今回の一件は秘書の秘書たる自覚が欠けていたとしか言いようがないと思います。

さらに調査の上、今後記者会見等にて説明されるという事ですが、秘書を経験した立場から申し上げれば(民間企業でも当てはまると思いますが)、過度に接待を持ちかけてくる取引先とは、怖くてまともな取り引きは出来ませんし、こちらから接待を求めるといっても時代錯誤甚だしく、脇が甘いと言わざるを得ません。

仕掛けられたスキャンダルという報道も一部にあるようですが、27日付け読売新聞朝刊の社会面記事の最後の一文「思わぬ勢力を利する」という抽象的な言葉が、反社会勢力の関与が噂される今回の事件の大きな闇を表現するギリギリの言葉なのかと限界を感じています。